

認知症作業療法 活動計画（概要）

福井県作業療法士会では、会員の認知症への理解や対応力を高めるために、平成25年度から特設委員会として認知症対策委員会を立ち上げ、認知症関連分野で働いている委員と共に、認知症や認知症予防に関する情報の把握・勉強会・研修会等を開催しています。

人材育成事業：認知症研修会（年1回）の企画・開催

平成26年度からは、毎年外部講師を招いての認知症研修会を開催しています。

- ・ H26: AOS研修 認知症患者を取り巻く地域医療～OTに期待すること～ 敦賀温泉病院 玉井顯院長 61名参加
- ・ H27: 認知症をもつ人にOTとしてできること 四條畷学園大学 認知症専門作業療法士 松下太先生80名参加
- ・ H28: 認知症の理解と地域で支えるOTの実践～死ぬまで現役を支えるOT～ 九州保健福祉大学OT 小川敬之先生86名
- ・ H29: 認知症者の持てる力を活かした実践～ICFの視点を活かしたOT～ 広島都市学園大学OT 谷川良博先生76名参加
- ・ H30: 認知症の人に対するOT-急性期～地域までの作業療法士の役割を考える 森ノ宮医療大学 OT松下太先生

◎認知症アップデート研修会【包含】:平成29年は2回開催:参加者126名
平成30年は1回開催:参加者23名



*令和元年度は介護福祉士会ともコラボし、会員参加型の研修会を企画

令和2年2月:「AIスピーカーが地域生活を変える時代が来る！」

～作業療法士と介護福祉士の新たな学び～ 参加者26名

福井医療大学の堀教授による「作業療法士としてのテクノロジーと地域生活」の講義を始め、実際の在宅介護・通所リハビリの立場をケアマネやOTが紹介し、最後にAIスピーカーを用いて在宅介護をしている日本中小企業団体連盟 参与の岸氏によるAIスピーカーのデモンストレーションとグループワークを行いました。アンケート結果も5件法による平均値が4.8±0.5と満足度も高く、概ね好評でした。



認知症の人と家族の会との連携事業

平成29年からは公益社団法人 認知症の人と家族の会 福井県支部の「家族支援プログラム」(6回コース)のうちの一コマ「寄り添ってみましょう、相手の心～認知症の方へのリハビリ」を当県士会の副会長が講師を務めております。



行政や市町村事業・イベント等の協力

依頼を受けて、県の若年性認知症ネットワーク会議に出席したり、各々の地域にて認知症フェアや認知症予防事業・認知症カフェのお手伝いをしている会員もいます。またキャラバンメイトにて様々な年代や職種の方にサポーター養成講座をしたり、RUN伴等へ協力している会員もいます。



RUN伴・認知症フェア協力

COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

今年度は従来のような集合をしておの会議を開く事が難しく、現状では計画していた認知症研修会の企画も未定の状態です。（福井県士会の理事会はWeb理事会+研修会もZoom使用が整備されつつあります。）また県や各地での認知症のイベントも相次いで中止になっている状態です。さらに職場（重度認知症デイケア）では、検温・マスク・手洗い・消毒等の感染対策の仕事が増えていること+毎日ご利用されている方のご家族が感染件数の多い県外へ行かれたことで、2週間休んでいただかなければならないような問題も発生している次第です。これは高齢者をお預かりしている当施設の安全対策の一環で致し方ないことですが、連絡をしても理解していただけずに怒ってしまう方がいたり、息子さんと二人暮らしの重度認知症の方が2週間休むことで状態が悪化しないか？+経済的にも働かなければならない息子さんは大丈夫か？+虐待につながらなければよいが・・・等々心配な種は尽きません。コロナ禍の影響でこのような事も起こっている現状を分かっていたいただけると良いなと思うと共に、何か良い救済措置や良い方法を教えていただけると有難く思います。（県士会の活動報告以外に、個人の職場の現状報告になってしまい、すみません）

今後の展開：現状把握+対策委員会で何かできることを一つでも相談して実行していきたいと思う。